



保護者向け・保存版



家庭学習の手引き

親子で育てる学力アップ・家庭学習の習慣づくり

保護者の皆様へ

川口市立前川東小学校
校長 橋爪 優

本校では、子供たちの学力向上を最重点課題として、全職員で授業力の向上に取り組んでいます。昨年度から、川口市で導入したミライシードを活用し、基礎・基本の問題に取り組む「ドリルパーク」、児童同士の意見の交流等を行う「オクリンク」「ムーブノート」を活用しています。また、日頃の授業改善に加え、始業前の朝の学習時間「算数・国語タイム」の充実や家庭学習の充実が、学習内容の定着には大事な取組であると考えております。

これまでも、本校では、宿題を家庭学習の習慣化につなげていけるように、「家庭学習の手引き」を配付してきました。3年生以上においては、今年度も子供たちが自分のすべき学習に自主的に取り組めるよう指導してまいります。

家庭学習は家庭が舞台であり、学校と家庭が連携することによりその効果も大きくなります。今年度も引き続き、この手引きをもとに、全学年で取り組んでまいりますので、子供たちの学力の向上と家庭学習の習慣化が図られますよう、各家庭でもご活用ください。

令和5年4月

川口市立前川東小学校

宿題を通して家庭学習の習慣化を育てる段階的指導の方針

原則として、担任からは毎日「家庭学習の課題」を出します。

目標

家庭 学習	1・2年生	(月～金)宿題＋読書など	決まった時間に、いつもの場所で
	3・4年生	(月～金)宿題(自主学習)	宿題バッチリ 自主学習にもチャレンジ
	5・6年生	(月～金)宿題(自主学習)	自学 自分の学習は自分でつくる

家庭学習の時間のめやす

1・2年生 30分以上
3・4年生 40分以上
5・6年生 1時間以上

※塾など、家庭外での学習時間は含みません。
塾などでの課題を家庭で学習する時間は含みます。
※難しい場合は、これより少ない時間から始めましょう。

保護者の皆様へのお願い (家庭学習における保護者の役割)

① 学習時間の設定

。 。 。 テレビ、ゲームも時間を決めて

- 上記の時間をめやすにして、「必ず机に向かう」習慣を身に付けさせましょう。
 - 「何時から何時まで勉強する」ということを親子でよく話し合い、いつも決まった時間に勉強をさせるようにしましょう。(→児童用「家庭学習の進め方」の「学習を始める時刻」の欄に時刻を親子で話し合い記入させてください。)
- 見たいテレビだけ選んで見るとか、ゲームは何時までとか、親子でルールを決めましょう。

② 学習に集中できる環境づくり

。 。 。 「勉強しなさい」の前に環境づくり

- いつも同じ場所で学習するようにさせましょう。
- テレビを消す、音量を小さくするなど、落ち着いて学習できる環境を家族でつくりましょう。
- 机の上が乱雑であったら、整頓させることから始めましょう。
- 調べる学習に必要な国語辞典、漢字辞典、各教科の参考書・資料集など、学年に応じて買ってあげてください。問題集などもあるとよいです。

③ 声かけ・見届け・励まし

。 。 。 手をかけ、目をかけ、声をかけ

- やりっ放しにならないよう、子供が学習したことに目を通し、チェックしたり、声をかけたりしましょう。ほめたり、励ましたりすることで、お子さんはやる気を出します。

- ① 1・2年生の計算は、親が丸付けをしてあげてください。
3年生以上は、自分で丸付けができるようにしてください。
いずれにしても、間違っていたらやり直すことが大切です。
- ② 全学年、お子さんの音読を聞いてあげてください。
そして、「音読カード」のチェック欄に記入してください。
- ③ 「自主学習ノート」を担任に提出する時は、その前にノートを見てサインをし、励みになるように声をかけてあげてください。
- ④ 少しでも努力していることは、いっぱいほめてあげてください。

家庭学習のポイント



家庭学習の習慣は、基本的な生活習慣づくりから

起きる、寝る、食事をする、歯を磨く、遊ぶ、テレビを見る、家族と話す、手伝いをする……。こうした毎日の生活の中に家庭学習の時間も位置付け、一定の時間に従った生活のリズムができるようにすることが大切です。子供は勉強だけで成長しているわけではありません。「勉強をやったの？」の言葉掛けだけでは学習習慣は育ちません。子供の将来を見すえ、あせらず、一步一步、基本的な生活習慣とともに家庭学習の習慣を育てていきましょう。

家庭学習の7つのポイント → 毎日、机に向かう習慣をつける

- ①決まった時間にやる。
- ②いつも同じ場所でやる。
- ③きちんとすわってやる。
- ④テレビを見ながら勉強したり、おやつを食べながら勉強したりしない。
- ⑤机の上をきれいにしてお勉強を始める。
- ⑥計算やテストなどは、必ず丸付けまでやる。
- ⑦まちがった問題は、できるだけやり直す。分からなかったら調べる・聞く。

家庭学習が終わったら → 明日の準備をする習慣をつける

- ①毎日、鉛筆を削る。(筆箱の中身を確認する。)
- ②連絡帳を見て、今日のうちに明日の持ち物を準備する。

宿題・家庭学習がどうしても必要なのか

①学校での学習を補い、学習内容をしっかりと身に付けさせるために

学校での時間は限られており、繰り返し学習などの時間をとりにくいのが現状です。学習した直後に復習をすれば3週間たっても約80%は覚えているが、全く復習しないと翌日には約半分、3週間後には約20%しか覚えていないと言われています。学校で一度やっただけでは忘れてしまうのです。

②家庭学習の習慣を身に付けさせるために

日本の子供たちは、諸外国の子供たちと比べて、家庭で学習する時間が極めて少ないのが現状です。多いのは、テレビを見たり、ゲームをやったりする時間です。

また、お子様が中学生になり、学習内容が多く難しくなったり、高校に進学しようとしたりする時点になって、家庭学習の習慣の必要性を強く感じる保護者の方は多くいます。中学生になってから家庭で学習する習慣を身に付けさせようとしてもそう簡単にはいかないからです。家庭学習の習慣は、小学校のうちから身に付けさせておく必要があります。

中学、高校と、お子様のこれからのことを考えると、宿題はただやればよいのではなく、宿題を家庭学習の習慣化につなげていくことが大切です。

自主学習で何をやったらよいか（例）

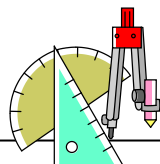
勉強の仕方を覚え、自主学習ノートを作ろう

- 3～6年生の「自主学習ノート」には、5mm または 10mm 方眼のノートを使用します。最初は、学校で購入させていただきますが、なくなったら各家庭で同じ規格のノートを購入してください。
- 「自主学習ノート」を担当に提出する時は、その前に家庭でも見てサインし、声をかけてください。

3・4年

こんな自主学習ができれば すばらしい

- 国語 ○学習した漢字を使った言葉を集めたり、短い文を書いたりする。
○教科書で意味がよくわからない言葉を書き出し、意味を辞典で調べる。
○出来事や自分の思ったことなどを、文章に書く。(日記・作文・感想文など)
○教科書の文章などを、正確に、ていねいに書き写す。(視写)
○ローマ字を読んだり、物の名前などをローマ字で書いたりできるように練習する。
- 算数 ○かけ算やわり算などの計算をくりかえし練習する。
○学校でまちがえた問題や苦手な問題をやり直してできるようにする。
○かけ算やわり算を使ってとく「文章の問題」を自分で作る。
- その他 ○地図を見て、地図の記号や埼玉県内の市町村、都道府県の名前・場所を覚える。
○社会や理科の学習の中で、興味をもったことをもっと調べてノートにまとめる。
○塾の課題や家にある問題集などをする。
○本校ホームページに掲載する「復習シート」に取り組む。



5・6年



興味があること、分からないこと、できないこと……そこから自学が生まれます

- 国語 ○詩や俳句、短歌、古文、漢文を何回も読んで暗唱する。
○書けない漢字を練習する。学習した漢字を使ったじゅく語集めや短文作りをする。
○教科書で意味の難しい言葉を見つけ辞典を使って調べ、ノートに書く。
○新聞を切り抜き、その記事の内容に対する自分の考えなどを文章に書く。
○教科書や新聞などから、気に入った文章、大切な文章などを正確に書き写す。(視写)
○日記を書く。読書感想文を書く。詩を書く。俳句、短歌を作る。
- 算数 ○分数や小数の計算をくりかえし練習し確実にできるようにする。
○まちがえた問題やわかりにくかった問題をやり直してできるようにする。
○学校で学習したことをもとに自分で「文章の問題」などを作る。
- その他 ○社会や理科で学習したことをよく分かるようにノートにまとめる。
○社会や理科の学習で、興味をもったことをもっと調べてノートにまとめる。
○地図を見たりかいたりして、都道府県や外国・大陸・海などの名前、場所を覚える。
○家庭科で学習したことを家庭で実際にやってみる。
○塾の課題や家にある問題集などをする。
○本校ホームページに掲載する「復習シート」に取り組む。